

千代田保育園建設計画について

(経過報告)



千代田保育園建設計画について、

「市報かんざき10月号」で旧千代田町において計画されておりました実施設計の内容見直しについて掲載していたところですが、その後、工事設計積算における諸経費率および平面図における配置について、保育士、保護者など保育園現場の意見をふまえ、より良い保育園を建設するために見直し検討を行い、神崎市としての平面図(案)の作成を再度行いました。

11月に入り、神崎市議会の文教厚生常任委員会、建設常任委員会および議会全員協議会に提案して、さらなる改善意見をいただきました。

その意見をふまえ、再度の検討結果を、12月28日に開かれた神崎市臨時議会に提案し、後にお示しする平面図(案)をもとに建設を進める旨の賛同をいただき、早速、実施設計作業に着手したところであります。

また、事業費がおよそ一億円増えると言われておりますが、この金額はあくまでも概算であり、園児に優しい園舎となるように、床構造の見直しや、外装・内装の使用材料の変更を計画していることから、今後の実施設計積算によりその額が算定されることとなります。

ます。

なお、細部については、現在も保育園現場および関係部署との協議を重ねており、市民の皆様にも納得していただける、より良い保育園建設に向け、また、早期完成を目指して努力いたしておりますので、皆様のご理解をお願いいたします。

1月17日には、千代田町境野保育園および城田保育園の保護者を対象に、これまでの経緯の説明報告会を行い、お父さんお母さん方の不安や疑問にお答えしたところであります。

今後の建設スケジュールにつきましては、決まり次第、市報にてお知らせいたします。

主な変更箇所は以下のとおりです。

用語説明

※諸経費とは・・・

工事を施工するにあたり、直接工事費(材料・労務費など)以外の、準備・仮設・安全管理・事務費などに必要な経費をいいます。

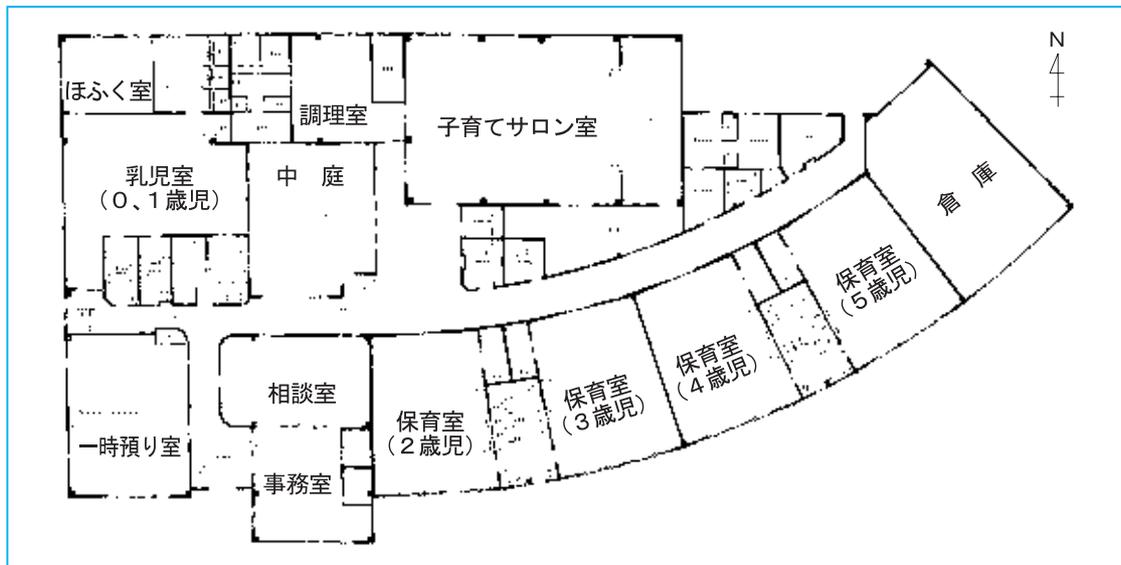
※諸経費率とは・・・

諸経費を求めるために、直接工事費に乗じる率のことをいいます。

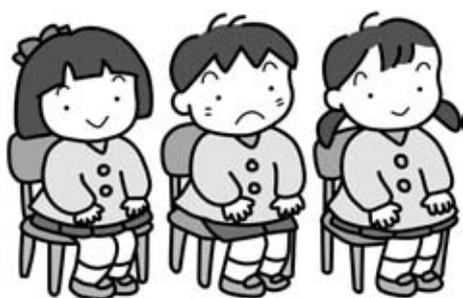
千代田保育園建設図面の主な変更箇所

変更箇所	変更内容	変更による効果面
0、1歳児室	北西から南西に配置	採光、通風、温度変化に配慮
2～5歳児室	南側に各1室から各2室ずつ配置	少人数保育に対応でき、静かで落ち着いた保育が期待できる
保育相談室	事務室内に確保	相談時に事務室を離れることなく、対応できる
事務室	南側のほぼ中央に配置	来園者確認、園庭への危機管理に対応しやすい
倉庫	東側の南に面した位置から中央部に配置し、屋内専用	どの保育室からも利用しやすい 屋外用は、場所・面積等を今後検討
調理室	北側中央から北西部に配置	西側に荷受室を設置し、荷物の受取りがスムーズとなり、調理室への動線も効率的となる
廊下	幅を2.5mから3.0mに変更 コンクリート直貼を床組に木板貼 ビニル腰パネルを木板腰壁に変更	安全でやさしい床、壁で、十分な幅を確保し、採光、通風に配慮
中庭(デッキ)	0、1歳児用コンクリート人工芝貼を中央部に配置し、木製デッキを設置	通風、採光を兼ねた多目的デッキとして利用。行事などの保護者席不足時に利用 0、1歳児用は、木製のテラスを設置
ガラス	板ガラスを強化ガラス	安全性の確保
外壁	サイディング(12mm)EP塗をALC版(50mm)防水複層塗等に変更	外壁の断熱効果の向上

※細部については、協議中であるため、今後若干の変更があります。



▲変更前の図面



▼変更後の図面（案）

